

VetScan® products by  
**ABAXIS**

# *Vet***Com**

January / February 2009



 株式会社 **セントラル** 科学貿易



## ケーススタディ：鳥類

### VetScan System は、ガブリエル財団が助成するコロラド州立大学獣医教育病院の鳥類保護活動を支援している



写真 1

多岐にわたる獣医学的医療を受けている。

ガブリエル財団 (Gabriel Foundation) は、全米に名高いオウムの福祉団体で、本部はコロラド州デンバー近郊に置かれ、飼い主の飼育放棄など保護された約 450 個体の鳥に医療や介護活動を行っている。

新しい飼い主が現れるのを待つ間、保護された鳥たちは、コロラド州立大学 James L. Voss 獣医教育病院の動物医療サービスによって、健康診断から複雑な健康問題にまで

この動物医療チームは、エキゾチックアニマル医学の助教授 Dr. Matt Johnston をリーダーに、獣医学・外科インターンの Dr. Leslie Davidowski や、コロラド州立大学獣医学・生物医科学部の PVM (専門獣医学プログラム) 課程 4 年次の学生グループが活動に参加している。

月に 2 回、チームは鳥舎を訪問し、健康診断を実施し、健康問題の治療に当たる。複雑な治療や外科手術が必要な個体は、コロラド州フォートコリンズにある獣医教育病院に移送される。もっとも、ほとんどのケアは鳥舎で行われるため、獣医が頻繁に処置が可能となり、鳥の受けるストレスも少ない。

Vetscan VS2 生化学検査機器は、こうした活動で重要な役割を果たしてきた。VetScan の提供する 8 種の専用試薬と Avian/reptilian profile plus (鳥類/爬虫類専用試薬) を活用することで、医療チームは鳥舎という現地にしながらにして 12 分間で病態の鑑別が可能となり、個々の患鳥の診断に則した治療が提案可能となった。Dr. Johnston はいう。「オウムは捕食鳥類のため、悪いところがあっても、ほんとうにひどい状態になるまで隠そうとすることが多いのです。それゆえ、血液検査以外に早期診断法がないことも、しばしばです。」

Vetscan VS2 のおかげでラボでの結果を待たなくてすむようになり、Dr. Johnston やチームのメンバーは、介護担当者に問題への対処法について即時に助言できる。このことで、動物の健康状態が速やかに改善され、介護担当者にとっては、質問したり、治療計画に積極的に参加することも可能になっている。

「Dr. Johnston と CSU チームの活動には実に感謝しています。彼らのおかげで、当財団の保護する鳥たちにベストのケアを提供できているからです。」と、ガブリエル財団の Julie Murad 事務局長は語る。

Dr. Johnston によれば、「VS2 は、貴重な教育ツールでもあります。VS2 を用いることにより学生たちは鳥個々の症例で、最初の検査の時点から、検査結果を理解し解釈することができ、さらに最終的な治療プランの策定まで、関与することが可能になっているのです。」



写真 2

検査中にテスト結果が得られることで、学生に対して、診察中の鳥の様子と検査結果との相関について実証説明が可能で、学生たちの診断スキルの向上に役立つ点も VS2 の利点であると、Dr. Johnston は語る。

「鳥類の血液科学を理解することは、各個体のケアの向上、ひいては群れ全体のケア向上に役立ちます。発現パターンに注意していれば、群れの健康状態を最高に保つための給餌やケアに関する助言も可能です。VS2 は、こうした助言提供にも重要な役割を果たしています」と Johnston は語る。

#### 写真説明：

**写真 1** 『ピックルス (Pickles)』は、24 歳の Mealy Amazon Parrot、1998 年からガブリエル財団の保護下にある。保護される前は、14 年以上にわたって 12 家庭を転々とし、受けた世話は一貫性があるものとはいえなかった。最近、CSU エキゾチックチームによる検査を受け、PVM 学生 Julie Dudak と Stephanie Schlachter が、Dr. Davidowski の指導の下で健康診断を実施、ピックルスは良好な健康状態であることが判明した。

検査で、少量の血液標本を採取する Stephanie と Julie。テストに必要な血液標本が少量ですむことも VetScan の大きな特長のひとつ。

**写真 2** Stephanie が、血液標本を鳥類／爬虫類ローターに移し、VetScan VS2 生化学検査機器にセッティング。数分後には、Dr. Johnston は Stephanie とテスト結果について検討可能であった。テストでは、ピックルスは良好な健康状態にあることが確認された。ピックルスは、新しい飼い主と家庭が現れるのを待機中。

監訳 株式会社セントラル科学貿易

米国 ABAXIS 社 発行「Vetcom 2009.1 月/2 月号」より